



# 島根の地域医療

発行先  
島根県健康福祉部  
医療対策課医師確保対策室

## 今回の紙面

- ◆ 米国 WWAMI プログラム見学研修レポート《今田敏宏先生》 ◆ 島根県から国への重点要望 ◆ 地域医療最前線その21《周藤祐二先生》
- ◆ 研修医のページその7《足立宗織先生》 ◆ 看護師さんのページその2《田中亜由子さん》 ◆ 島根地域医療の会開催報告
- ◆ 自治医科大学訪問 ◆ 島根が日本に誇るあれこれ ◆ 県のドクターバンクから《島根県医師会》 ◆ 島根県からのお知らせなど

## 『米国 WWAMI プログラム 見学研修レポート』

2006年6月4日～6月10日

【島根県立中央病院 地域医療科

今田 敏 宏】



今回 WWAMI  
プログラムおよび  
臨床研修プログラ  
ムの研修のため、  
アメリカワシント  
ン州のワシントン  
大学に行く機会を  
得ました。WWAMIプログラムとは三十  
年前からワシントン大学が行っている有  
名な地域医療人育成プログラムで、  
Washington, Wyoming, Alaska, Montan  
a, Idaho の五州の頭文字をとったもので  
す。ワシントン州以外では医科大学がな  
く、これらの州から推薦された学生が、  
ワシントン大学の地域医療人育成特別カ  
リキュラムで教育され、卒後出身州へ帰  
り地域医療に貢献しています。WWAMI  
の学生は各州にある WWAMI 研修施設  
での研修がカリキュラムに加えられてお  
り、二年生で三週間、三、四年生で六週  
間ずつ二カ所と、かなりの期間を地域で  
研修することになります。研修する科は

内科、外科、家庭医学、小児科、産婦人科などで、プライマリ・ケアを学ぶ家庭医学が一つの診療科として独立し、さらに比較的長期間を大学ではなく実際の地域で学ばせるところに、地域医療に対する日本の教育との違いを感じました。各地域の指導医は定期的に大学の教室とミーティングを持ちたり、インターネットを通じて治療方針を検討したりと、大学と地域とが強く連携し、大学が中心となって各地の指導医を教育し地域医療を支えている様子が伺えました。

初期臨床研修制度の改正に伴い、地域医療が必修化され学生や研修医を指導する機会が増えてきています。その中で地域医療を担う医師をより多く育てるためには、中央の基幹病院が地域の医療施設と連携し、地域の指導医を育てることが第一歩と感じました。



WWAMI プログラム研修

## 島根県から国への重点要望

今更説明するまでもありませんが、島根県における医師の地域偏在、診療科偏在は、深刻化してきており、地域医療を取り巻く環境はますます厳しくなっています。

県としても、地域医療を維持していくため、様々な対策を行ってきており、この『島根の地域医療』でも紹介させていただいています。しかしながら、医師の偏在は全国的な問題となっており、県単独の対策では限界があると考え、抜本的な対策を求め、国に対し六月七、八日に要望活動を行いました。(県ではこの要望活動を「重点要望」と呼んでおり、例年春と秋に行っています。)

六月の「重点要望」では、県政の重要施策を二十項目選定し、そのうち十項目について知事自らが、各都府に足を運び、要望・提案を行いました。

医師の確保については、その十項目の一つとして次の四点を厚生労働省、文部科学省、総務省に対し要望しました。

一、「へき地・周産期など地域医療で特に必要性の高い分野における一定期間の診療経験」を医療機関の管理者となる要件にすることについて、引き続き検討し、実現化を図ること。

二、医学部に地域医療を専門とする講座

を設置し、地域医療教育を必修化させるなどの制度化及びそれに伴う必要な財源を国において措置すること。

三、女性医師は今後ますます増加する傾向にあることから、引き続き女性医師の幅広い就業体制の整備を図ること。

四、地域医療に従事する医師の確保のため、また、増加する女性医師の産前・産後休暇、育児休暇の代替要員を確保するために、島根大学医学部医学科の定員を増やすこと。

また、県からの要望のほか、全国知事会、全国都道府県議会議長会など様々な組織から国に対して医師確保に関する要望が行われています。

県の対策・支援は、人的・物的にも限界がありますが、小さな積み重ねが、地域医療の維持につながるものと考えておりますので、これからも、みなさんのご支援、ご協力をお願いします。

【医療対策課 石倉】

## 地域医療最前線その21

### ―県境の地域医療より―

【三笠記念病院院長 周藤 祐二】

三笠記念病院は、平成十一年に瑞穂町（現 邑南町）に開院しました。病院はオオサンショウウオも住む清流や緑豊かな自然に囲まれています。国道261号

線沿いで、車を利用すれば広島市内まで約一時間、浜田、江津、大田市までもそれぞれ一時間くらいとアクセスも意外と良いところですよ。

平成元年に医師になり、十年間県職として県内の各地で勤務して、様々な経験をさせてもらい、地域医療の魅力を感じてきました。その集大成として、同じ内科医の妻とともに開院と同時に定住することとしました。

当時から瑞穂町には高次医療機関が近くになく、検査や治療のために広島市内などへ出かけられる人が少なくありませんでした。そのためその後の通院は途切れがちで、既往歴を問診しても「以前に何かわからないけど一ヶ月くらい入院してたくさん検査してもらいました・・・。」といったケースがかなりみられました。

町内であるべく診断、治療をしてその後のフォローができるように医療機器もそろえました。ヘリカルCT、上下部消化管電子内視鏡、各種超音波などを装備し、肺がん検診から消化器の内視鏡によるポリープ切除術は出来るようにしています。小規模病院の利点を生かし、緊急時には必要最小限の検査を行い、診断した後に、必要があれば高次医療機関へ紹介しています。最近では、経鼻的な胃内視鏡も取り入れ、検査を敬遠しがちな人にも好評です。超高齢化地域では、世帯を支える若い世代の健康管理のため、人間

ドック、保健予防事業なども行っています。療養型病床は一〇〇床あり、主として高齢者が入院されています。開院当初にがん末期状態で入院され、日々ジョークを言い続けながら一〇〇歳を迎え、最近他界された印象深い方もおられました。人の「生と死」の尊さ、介護の難しさなど、日々たくさんのお話を学んでいます。

間で先生方、コメディカル・スタッフ、患者さんとそのご家族からは非常に多くの事を学ばせていただきました。当院では昨年、専門科に関係なく若手医師・研修医を中心に「重症チーム」を発足しました。これは救急外来に搬送される重症度の極めて高い患者さんの対応を二十四時間体制でサポートするチームです。私もその一員として救急外来での対応や勉強会、カンファレンスなどに参加させていただいています。対象となる患者さんの中には残念ながら搬送後まもなくお亡くなりになる方もいらっしゃいます。そのような患者さんとご家族への対応から、今後忘れてはならない事や考えていかなければならない課題などを学んでいます。もちろん臨床対応能力やスキルの向上につながる研修でもあります。



邑智郡邑南町上田所（旧瑞穂町）  
医療法人 徳祐会 三笠記念病院

## 研修医のペース その7

【松江生協病院研修医 足立 彩織】

松江生協病院で研修を始めて一年がたちました。内科・外科・救急科・麻酔科をローテーションした研修一年目はあつというまに過ぎていきました。この一年

初期臨床研修は規模などに関わらず自分に合う病院と出遭えればモチベーション次第で十分に充実させることができる、と思っています。そして診療科や経験年数の壁を越え様々なチームや研究会を自ら作り学ぶことのできる当院は、私にとつてとても魅力的です。今年度は精神科・産婦人科・小児科・地域医療などでの研修を予定していますが、それ以外の活動にも積極的に参加し、諸先生方の指導のもと研修にますます精進していこうと思います。

島根大学医学部附属

病院に勤務して

【島根大学医学部附属病院

看護師 田中亜由子】

島根大学医学部附属病院で看護師として勤務し、四年目になります。三年前の私は、なかなか仕事が覚えられず、日々の業務をこなすことが精一杯で、失敗ばかりの毎日でしたが、今では後輩指導などの大役も担わせていただき、責任感を感じながらも、充実した仕事をしていきます。

指導的立場になっても、私が後輩たちから気付けられることもたくさんあります。先日、コミュニケーションが十分に図れない患者さんのもとへ一緒にケアにあたった時のことでした。彼女たちはまず患者さんにあいさつをし、今から行うケアの一つ一つを丁寧な言葉で説明し、ケア時も患者さんに配慮する声掛けをしていました。彼女たちの優しく・丁寧な物腰は非常に好感が持て、自分自身の態度・行為を振り返るには、大変いい機会になりました。患者さんのご家族からも「実際に聞こえているかどうか分からないけれど、物ではなく人間ですからね。い

ろいろ話しかけてもらえて、ありがたいです。」と言っていたきました。

二〇〇三年に公表された『看護師の倫理綱領』には、看護の実践にあたっての尊厳を保つ権利、敬意のこもった看護を受ける権利、平等な看護を受ける権利など、人権を尊重することが明記されています。彼女たちの行為は、看護師としてはごく当たり前のことですが、患者さんを尊重し、対等な立場で接するという大切な行為だったと思います。この度、このことを改めて実感させられました。

私は、これからも基本的な態度を忘れずに、患者さんに満足いただける看護を目指し、後輩とともに成長していきたいと思えます。また、新たに看護師になる人たちへも伝えていきたいと思っています。

『しまね地域医療の会開催報告』

七月一日、今年度第一回目の「しまね地域医療の会」を開催しました。

「しまね地域医療の会」は、自治医科大学卒業医師や赤ひげバンクを通じて着任された医師など、県内の地域医療現場等で勤務する医師が相互に情報・意見交換をする場で、年二回開催しています。

地域医療機関の医師からは、マンパワー不足により業務過多となっている状況や、行政と一体となり診療連携体制を確

立した圏域の取り組み等が報告されました。また、今後、各圏域あるいは各病院で本当に確保すべき医療機能は何か、その機能をどう補完していくかについて、真剣な議論が必要との意見が出されました。

会議後の懇親会でも、より交流を深めていただけたのではないかと思います。今後も、この会を通じ、島根の地域医療を担う医師の交流の輪がさらに広がっていくことを期待しています。



しまね地域医療の会の模様

【医療対策課 石橋】

自治医科大学訪問 六月七日

六月七日、毎年、恒例となる自治医科大学を訪問しました。当日は特に一年生がどんな表情をしているのか気にかかっています。大学に到着すると二名の一年生を含め、島根県出身の十四名全員が笑顔で出迎えてくれて、ホッとしまし

た。学生との意見交換では、忙しい学生生活を垣間見ることができました。何かと厳しい地域医療ですが、彼らが将来、しっかりと地域医療に貢献しつつも、その笑顔が絶えることのないよう学生たちを支援していきたいと感じました。



◆笑顔で迎えてくれた島根県出身の自治医科大学生（14名）

【医療対策課 口羽】

島根県が日本に誇るあれこれ

▼日本一 はっけよ、のった!



史上最強の力士雷電為右衛門（らいでんためえもん）は、並外れた体格と怪力を見込まれ、

松江藩に召し抱えられた。四十五歳で引退するまでの勝率は九割六分二厘（二五四勝十敗十四預かり二引き分け）。これは相撲史上最高の記録。

写真提供：島根県古代文化センター

## 県のドクターバンクから

### ●求人・求職取扱状況

(平成18年7月1日現在)

#### <求人> 27件

邑智郡(病院)／整形外科、精神科  
浜田市(病院)／内科  
雲南市(病院)／内科  
出雲市(診療所)／胃腸科、肛門科  
邑智郡(病院)／内科、整形外科、在宅医療  
鹿足郡(病院)／内科、外科  
仁多郡(診療所)／内科  
浜田市(診療所)／内科  
鹿足郡(病院)／放射線科、内科、麻酔科  
益田市(病院)／内科、循環器内科、神経内科、呼吸器内科  
松江市(病院)／内科、麻酔科  
浜田市(病院)／内科、放射線科  
江津市(病院)／精神科  
仁多郡(病院)／眼科、内科  
松江市(その他)／不問  
松江市(病院)／内科、リハビリテーション  
出雲市(病院)／内科  
松江市(その他)／内科  
浜田市(その他)／内科  
鹿足郡(病院)／整形外科、内科、リハビリテーション  
松江市(病院)／内科、整形外科  
邑智郡(病院)／内科、整形外科、産婦人科、放射線科  
松江市(その他)／不問  
雲南市(病院)／麻酔科、精神科、内科、循環器内科、皮膚科  
大田市(病院)／精神科、内科  
松江市(病院)／神経内科  
松江市(その他)／不問

#### <求職> 0件

●申し込み手続き及び詳細につきましては、当紹介所までお問い合わせ下さい。  
[電話番号]0852-21-8813(専用電話)  
[ホームページアドレス]  
<http://www.shimane.med.or.jp/dcbank.htm> 【担当:塩田・嘉本】

### 赴任意向アンケート調査実施

5月下旬から県外に在住する島根大学医学部卒の医師の方1,552人を対象に赴任意向アンケート調査を始めました。

その結果、約70名の方から返信があり、現在1人でも多くの先生に島根県で勤務していただくよう出張訪問面接を行っています。

## 島根の地域医療視察ツアー

### 参加者募集

島根県では、将来県内で勤務を考えておられる医師やそのご家族を対象に地域医療の視察ツアーを開催します。自然を余すことなく満喫できる島根の地で、実際にその目で町の雰囲気や病院、診療所をみてください。

**日程や視察コースは、ご希望に  
応じながらつくっていきますので  
お気軽にご連絡ください。**

#### ○対象

◆現在県外で勤務されている医師で、将来島根県での勤務を希望する医師及びそのご家族。

#### ○ツアーの費用

◆県の規程に基づき、原則2泊3日分(2名分)の旅費を県が支給します。

#### ○申込方法など

◆参加希望の方は、同封した「島根の地域医療視察ツアー参加申込書」(チラシの裏面)にご記入の上、FAX、又は郵送によりお申し込みください。

※ 島根県ホームページからも申し込みめます。

<http://www.pref.shimane.lg.jp/iryota/isaku/>

#### ○視察ツアーの例

《1日目》

隠岐(離島)の病院視察



隠岐の島町めぐり(宿泊)

《2日目》

隠岐(離島)の診療所視察



出雲市へ移動し出雲市めぐり(宿泊)



《3日目》

県立中央病院(大規模病院)

### 島根県で勤務したい方へ

島根県では、県内で勤務していただける医師を探しています。全国どこへでも専任の担当者が出張し、電話やメールでは相談しにくい、細やかな相談にも応じます。お気軽に**医師確保対策室**までご連絡ください。

また、友人・知人の医師で島根県での勤務を希望されている方がいらっしゃいましたら、その方の同意を得た上で、**医師確保対策室**までお知らせください。

ご紹介いただいた医師へは、病院情報や医療情報を提供し、県内での勤務を支援します。

連絡待って  
ます。



### 『赤ひげバンク』の登録者のみなさんへ

ご都合で住所等を変更された場合は、メール又は同封した赤ひげバンク変更登録票でお知らせください。

### 島根県医療対策課 医師確保対策室の連絡先

〒690-8501 松江市殿町1番地  
E-mail:iryout@pref.shimane.lg.jp  
TEL:0852-22-6683  
FAX:0852-22-6040  
ホームページ[島根の医療]:  
<http://www.pref.shimane.lg.jp/irvotaisaku/>